2020年3月期(第19期)通期 決算説明資料

CROOZ

クルーズ株式会社

東証 JASDAQ スタンダード 2138

クルーズの重点戦略

- 1 SHOPLIST をファストファッション EC 分野を代表するブランドへ
- 2 SHOPLISTに続く第二・第三の事業の柱を創出すべく新規事業へ投資
- 3 新規事業はグループ内立ち上げとM&Aの2つを主軸の戦略とする
- 4 「100人の経営者」×「100億円の事業」*
- 5 営利・当期利益をマイナスにしない範囲で売上最大化に投資

クルーズの超長期的目標

超長期的 20XX 年までに時価総額 1 兆円以上 目標 SHOPLISTに続く SHOPLIST 売上2桁億円 第二第三の 代表取締役の人数 年間売上高 以上の事業数 中長期 事業の柱 目標 1,000億円 100事業 100人 事業 2020 245_{億円} 26人 事業 40 (2020年3月期実績)

SHOPLIST の重点戦略

重点戦略

SHOPLIST をファストファッション EC分野を代表するブランドへ

1 人当たり 1人当たり 年間ユニーク 年間売上高 購入者数 年間購入金額 年間購入回数 中長期 目標 1,000億円 500万人 20,000 **245** _{億円} 2020 179万人 13.459_m 2.43 40 (2020年3月期実績)

連結業績サマリ

(百万円)

	2019 4Q	2020 4Q	増減率
取扱高	7,018	7,309	+4.1%
売上高	6,480	7,090	+9.4%
営業利益	-892	253	_
EBITDA	-780	370	_

セグメント別業績サマリ

(百万円)

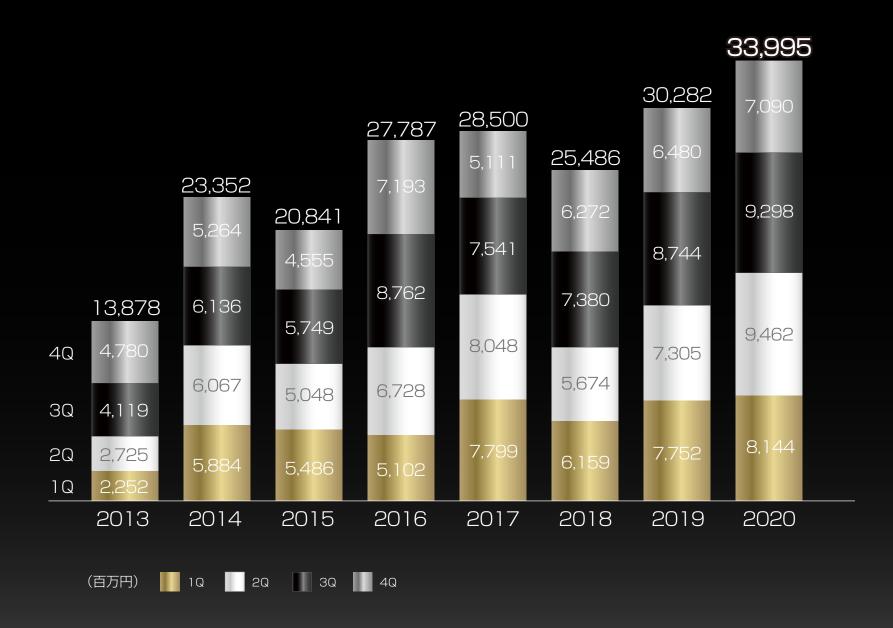
	2019 4Q		2020 4Q	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益
SHOPLIST事業	5,151	-544	5,022	106
インターネット コンテンツ事業	577	35	557	36
広告代理事業	231	35	310	-4
投資事業	2	-89	269	171
メディア事業	144	-99	295	16
その他事業	372	-230	635	-72

連結 BS サマリ

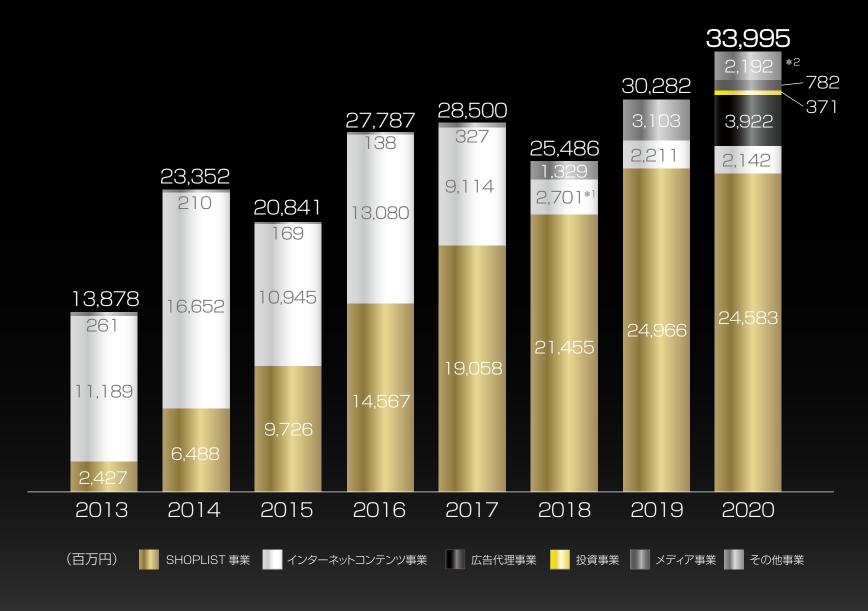
(百万円)

	2019 4Q	2020 4Q	増減率
流動資産	19,357	21,086	8.9%
現金及び預金	12,861	13,532	5.2%
固定資産	4,864	4,692	-3.5%
のれん	1,093	468	-57.2%
資産合計	24,410	25,947	6.3%
流動負債	5,530	6,430	16.3%
固定負債	10,220	11,243	10.0%
負債合計	15,750	17,674	12.2%
純資産合計	8,660	8,273	-4.5%

売上高の推移

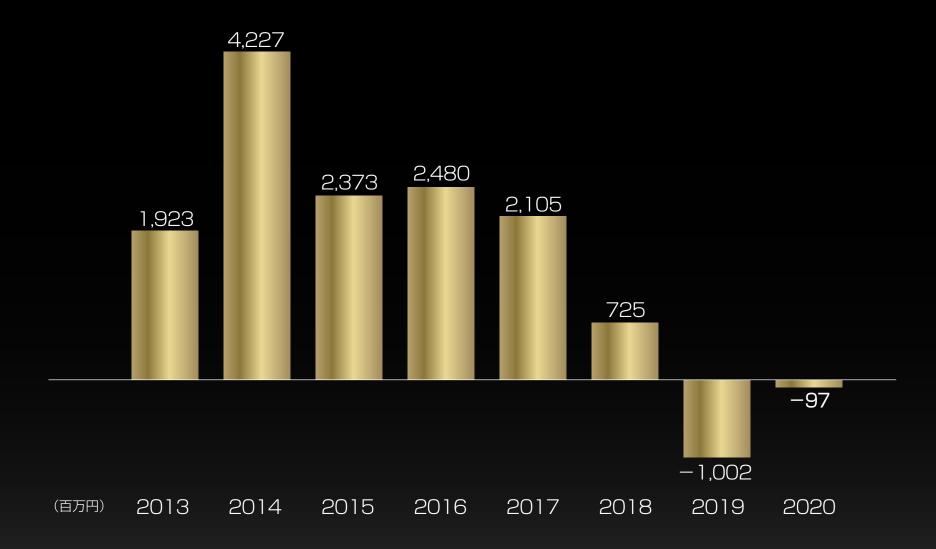


売上高の推移(セグメント別)



- *1 2016 年 11 月にインターネットコンテンツ事業を一部を除き譲渡しました
- *2 2020 1Q より「その他事業」に区分していた「広告代理事業」「投資事業」を、2020 4Q より「メディア事業」を独立したセグメントとして数値を開示しています

営業利益の推移



新規事業への投資方針

2020 年 3 月期 1 Q 決算にて発表した通り、今後はグループ全体で無理に無駄な 投資はしないのは当然のこと、「営利・当期利益をマイナスにしない範囲で売上最大化 に投資」という方針にしています

2020年3月期は黒字化する事業が出始め、下期からグループの営業利益は増加 基調で推移し、利益のすべてを総投資せずとも新規事業へ十分な投資が行える基盤 が整ってまいりました。よって、今後は無理に無駄投資はしないのは当然のこと、 M&A も含め新規事業への積極投資を継続します

CROOZ GROUP の概要

CROOZ GROUP は純粋持株会社であるクルーズ株式会社と現在 26 社の子会社で構成されています

EC 領域 CROOZ SHOPLIST 株式会社

ファッション通販 SHOPLIST.com by CROOZ の企画、開発、運営

CROOZ EC Partners 株式会社

EC サイトのシステム構築・運用受託・フルフィルメント等各種ソリューション事業

メディア領域 |株式会社 Candle

メディア事業・新規事業の企画、開発、運営

広告領域 CROOZ Media Partners 株式会社

広告・メディアを取扱う代理店事業

ゲーム領域 | StudioZ 株式会社

スマートフォン向けゲームの企画、開発、運営

投資/ Sevenwoods Investment 株式会社

金融領域 国内外スタートアップへの投資育成事業

^{* 2020} 年 3 月末時点で上記他 20 社の子会社が存在していますが、現時点でインパクトの大きさも成功確度も未知数な取り組みのため記載しておりません。進捗があれば、リリース、決算説明資料など適切な方法を通じて、ご報告してまいります

^{*} 管理上の数値のため、会計上子会社と見做されるファンド等は含まれておりません

用語集

	意味・定義	
EBITDA	M&Aによるのれん等の償却費を含まない営業利益	
年間ユニーク購入者数	直近 1 年間に SHOPLIST で 1 回以上お買い物をしたユニーク購入者の数※同一人物が 4 回買い物をしても 1 人と計算しています	
永久進化構想	ヒトモノカネのエコシステムを通じて最強の企業生命体を創り ① 次世代の事業の誕生と成長 ② 次世代の経営者の誕生と成長 ③ 永遠のベンチャースピードを手に入れるための仕組みのこと	

当社グループを取り巻く事業環境の変化は大きく

新規性の高い事業や新たなビジネスにも積極的に取り組んでいることから

当社グループの業績の見通しについて

適正かつ合理的な数値の算出が困難であるため

14期 (FY2015/3)より業績予想を非開示にしています

本資料には

当社の中長期的計画、見通しが含まれております

こうした記述は将来の業績を保証するものではなく

リスクと不確実性を内包するものであります

将来の業績は、様々な要因に伴い変化し得る可能性があり

本資料のみに全面的に依拠する事は控えるようお願いいたします